

会 議 録

案 件	まちづくりに関する意見交換会		
日 時	平成 28 年 10 月 27 日（木）18:00～19:30	場 所	多目的ホール
出 席 者	参加者 36 名、 自治基本条例検討委員会委員長、 町長、事務局 4 名	報道関係	2 社

内 容

1 開会【進行：事務局】

2 あいさつ

（委員長）：本日はこのような会を開催することができ、感動している。中高生や大学生、委員や部会員の方々など、多様な人々が集まり市貝町について話し合う機会はなかなかない。町の内側か外側か、年齢や立場など様々な視点が交錯する意見交換会となった。皆さんも 10 年後に今回の会がいかに価値あるものだったかを思い返すことになるかと確信する。

今回これからグループでの活動に移るわけだが、グループ意見の発表はぜひ中学生に任せていただきたい。グループの他のメンバーはそれを支える形である。また、検討委員会、作業部会のメンバーには「聞く力」を意識しメンバーの意見を引き出す側に回っていただきたい。

（町長）：市貝町民は表に出ず。おとなしいと呼ばれることが多い。栃木県民に関してもインターネットで調べると「何も言わない」などさびしい意見が多い。本日は外部からの参加者がいらしている。加えて町内の中高生にも参加していただいている。それぞれの視点はともに我々にはないものである。そうした目で市貝町を発見していただきたいと思う。今回の意見交換会がよりよい方向でまとまることを祈りあいさつとする。

3 意見交換会

① ワークシートの記入（10分）

グループでの活動に移る前に、まずは個人でワークシートの記入を行った。

② グループワーク（45分）

自己紹介から始め、役割分担の後、それぞれがワークシートに書いた内容を発表し話し合いながらグループとしての意見を形成していった。

③ グループ発表

委員長の提案どおり、各グループで模造紙にまとめたものを代表として中学生が発表する形となった。

グループ①

- ・市貝町の好きなところは「自然が多い」「人が優しく、お互いの仲がよい」ところ。
- ・SLや芝ざくら公園はもっとPRしていったほうがよい。
- ・市貝町の嫌いなところは「買い物が不便である」や「認知度が低い」ことである。
- ・ゆっくり座って休めるところが欲しい。
- ・マラソン大会など外部から人を呼び込めるイベントを増やしたい。
- ・夜道が暗いが、懐中電灯を持って照らすことはできる。
- ・現状以上にSNSを活用していくべきだ。

グループ②

- ・好きなところには「豊かな自然がある」ところと「親しみやすい住民性」を挙げた。
- ・また、近年交通の便がよくなったことや、宇都宮など県内主要場所へのアクセスがよいことも挙げた。また、観光の北部、道の駅がある中部、花王など企業の集まる南部など、地域によって特色がある。
- ・嫌いなところは、人の気配がないこと。街灯が少なく、夜道が暗いこと。また、人が地域に馴染むまで時間がかかることも挙げられた。それは慣れていくほかない。
- ・公共交通機関が少なく、子どもたちの遊ぶ場所も少ないが、デマンドタクシーが普及すれば解決するのではないか。
- ・病院や大型店舗の少なさは、企業の進出などで補ってもらいたい。
- ・季節ものの観光施設が多く、家族で行けるような施設が少ないことは、（公園などの）遊具を増やしてもらえれば解決すると思われる。
- ・よりよく住みやすくするためには、自然保護や農作物を育て、ボランティアへの参加が必要だ。加えて、自然を利用して（観光分野などで）何かができるのではないか。将来の人口保護のためにも、仕事を増やしてほしい。

グループ③

- ・自然の豊かさや伝統的な行事、施設の多さ、ならびに人柄の良さを市貝町の良さとして挙げた。
- ・その一方、街灯やガードレールといった交通設備の少なさ、食料品店のような生活関連の施設が少ない。また、道の整備が進んでいないことも挙げられた。
- ・バイパスや空き家の活用法があるのではないか。
- ・今回のような意見交流会のような町の意見を話し合う機会がもっと欲しい。市貝町民には人柄の良さがあるのだから、そうした場で話し合うことで問題を解決していくことができるのではないか。
- ・自然の豊かさを保ちつつも人の住みやすい町にしたい。

グループ④

- ・地域のつながり、静かでのんびりした空気、災害の少なさを市貝町の良さとして挙げた。
- ・しかし夜道の暗さ、歩道の狭さのような交通の不便さは悪い点である。
- ・克服するためには道の整備を行うことと、今回のような町民が参加する意見会の開催を行うことが必要である。
- ・地域の住民のつながりを重視し、住民が笑顔で生き生きした市貝町を作っていきたい。

グループ⑤

- ・市貝町の良さとして挙げられたのは、自然の多さ、星や森がきれいであること、地域交流の多さ、地域住民の優しさ、市街地への交通の利便性である。
- ・夜道が暗く危険であることや、公共交通が不便であること、公園や遊具施設の少なさは改善してほしい点である。また、知名度が低い点も悪い点として挙げられた。
- ・理想の市貝町は、自然が豊かでより交通が便利になり、若者が住みやすく、住民同士が盛んに交流する町である。
- ・そのためにできることは、子どもも意見を出し、大人子ども問わず住民がお互いの意見を受け入れ、活動に参加すること。
- ・大人たちには子どもたちの意見を聞き入れてほしい。また、将来町で働くための仕事が欲しい。

4 講評

(委員長) : 各グループとともに様々な立場、年齢の人が入り混じり個性を発揮いろいろなアプローチをとっていた。市貝町に住んでいないものからすると、北部中部南部それぞれの特色は耳に新しいものだったし、3つのグループから雇用に関する話題が出たのも印象的だった。外部の人からも指摘を受けるかもしれないが、やはり内部の人の生の声は迫ってくるものがある。

小学校高学年が読みこめばわかるような条例を目指し、絵のようなグラフィカルなイメージを盛り込むことにしてきたが、今回近い年齢の中学生たちの声を取り入れ、発表まで行ってもらった。発表を聞いて、現在の方向性は間違っていないということを確認した。今後も長丁場で制定作業は続くが、大きな後押しとなったのではないかと。今後もこういう会を開くというのは難しいかもしれないが、今回参加いただいた方には是非継続的に声を届けてほしいと思う。

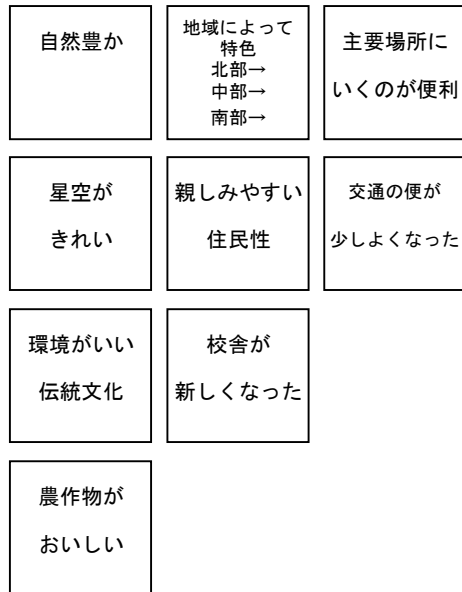
5 閉会

以上、会議の概要について記録いたします。

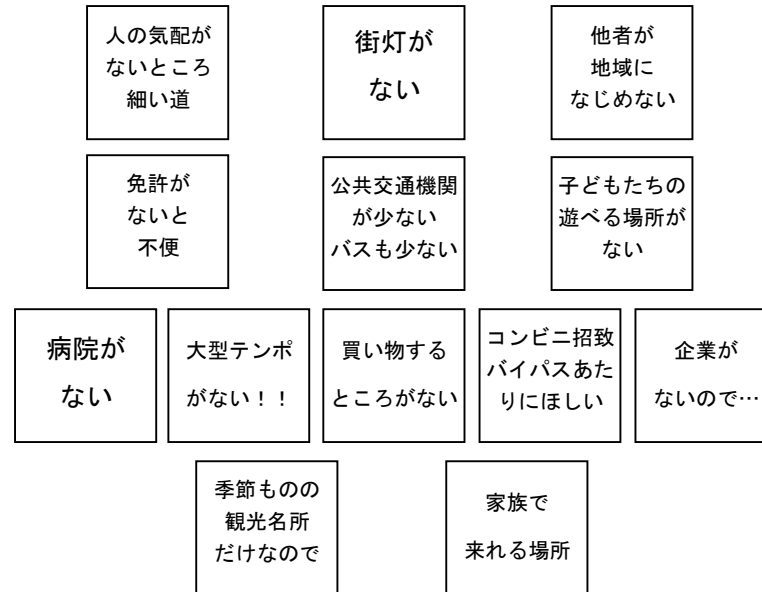
第3回市貝町自治基本条例町民検討委員会
「まちづくりに関する意見交換会」グループワークまとめ

グループ①

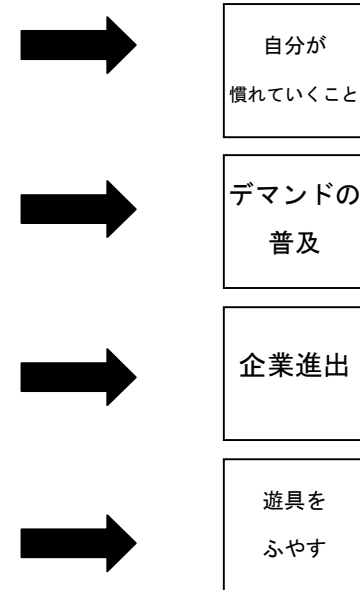
好きなところ



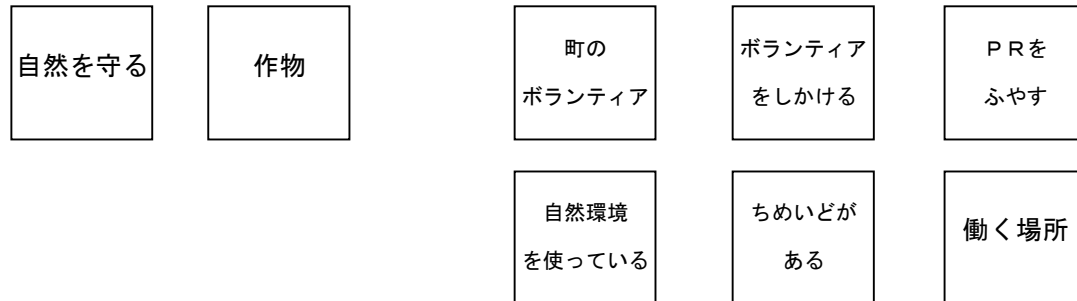
不便なところ



克服するためには…

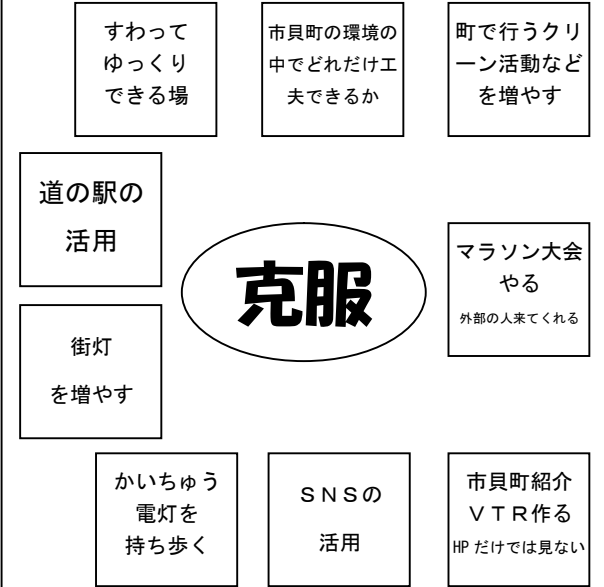
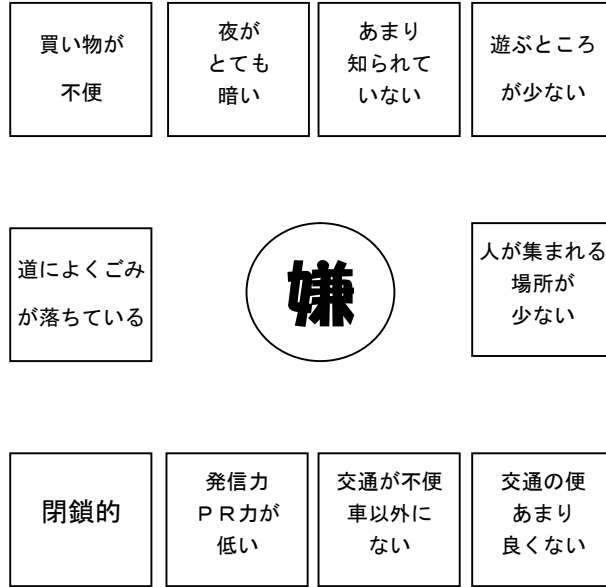


市貝町をこれからこんな町にしたい！

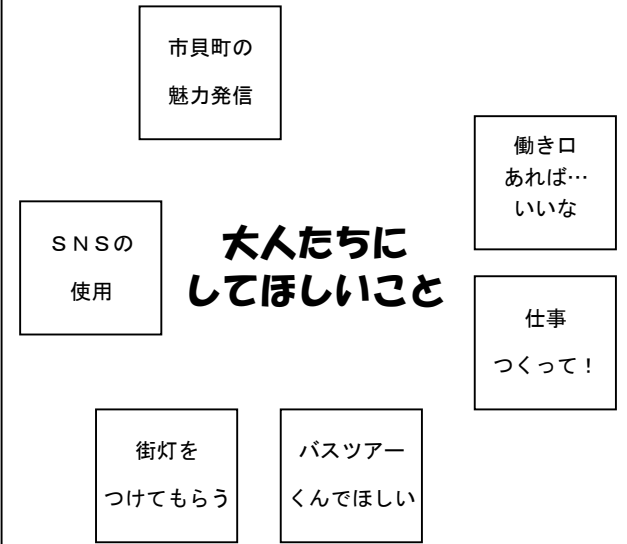
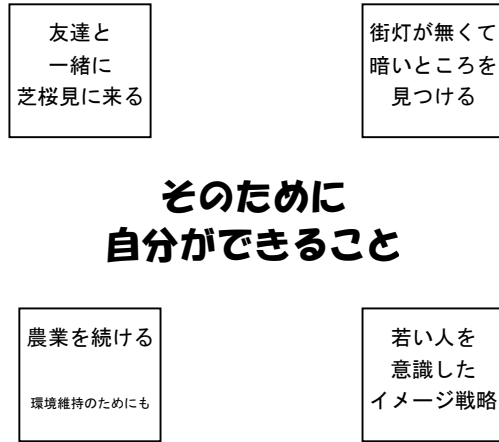
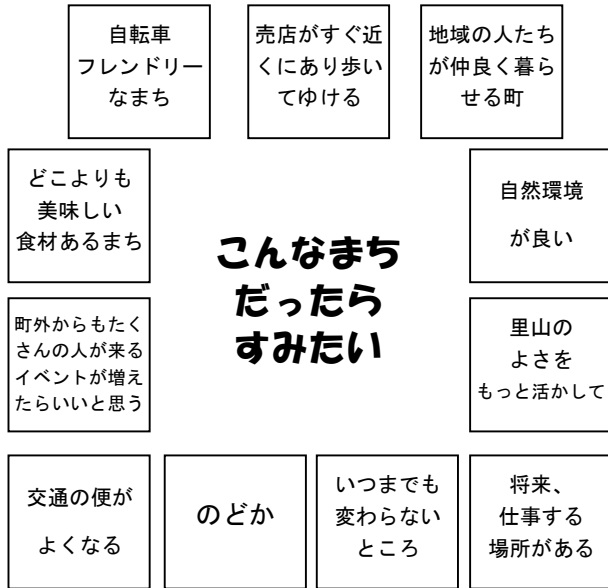


グループ②

市貝町
の
好きなところ
嫌いなところ
克服するには？

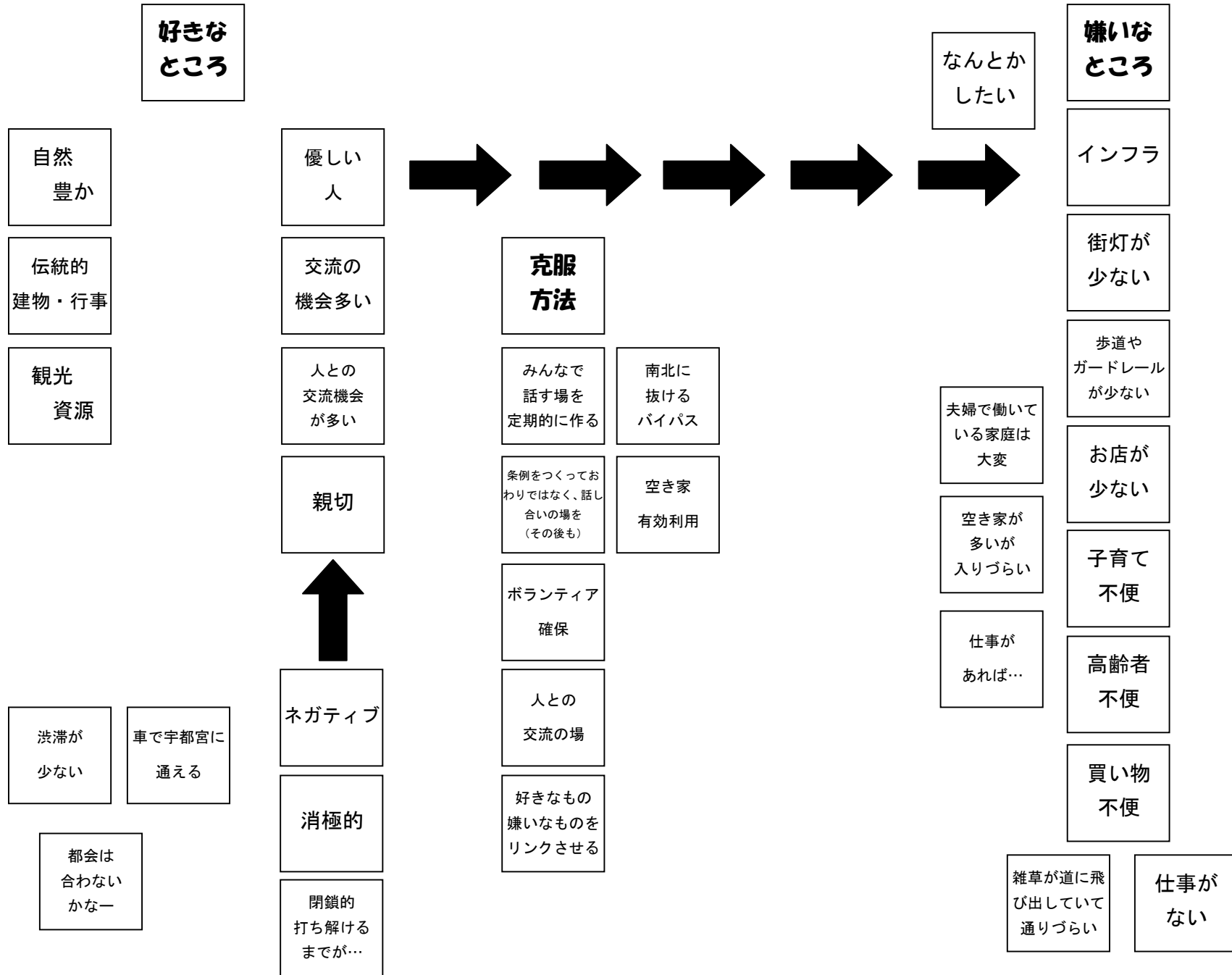


市貝町
これから
こんなまちに
したい！



将来像

あえて、のどか。



克服するためには？

少しずつ道の整備をする	暗い所に街灯をつける	暗い所に街灯を設置する	
暗い所に街灯をつける	町の特徴をもっと積極的にPRする事	がいとうを増やし、明るくすることで町も明るくなるのではないかと思います	新しい取り組み
地域のリーダーを育てる多くの人を巻き込む	+思考していく！	好きなことを表現する場所	

嫌いな所



対外的なPR不足	消極的	ひっこみじあん
明りが少ない	夜暗い	道が暗い
がいとうが少ない	歩道が狭い	人口が減少している
交通が不便である	商店街がさびれてきている	活気がない



いい所

比較的災害が少ない	自然が豊かなところ	自然が豊か	地域の方が優しい	人が優しい
災害が少ない	サンバや芝ざくら公園などの自然があることから自然が豊かなところ	自然ゆたか	自然が豊富である	のんびりした空気
豊かで平和	静かな所	のどかなところ		

大人へ一言！

子供を大切にすることも色々なイベントに出るなど盛り上げてほしい	若者の意見を聞く姿勢を整えてほしい
自然を守る活動	まず何もいわず見て！
自然を大切に、守る活動	聞いて！

豊かな生活

医療サービスの向上・改善	教育・医療・福祉・環境バランスよく発展している
近くに買い物できる場所がある	治安が良く清潔
Uターンの環境整備	何か1つでもまちづくりの活動に参加する

誇りある町

地元をほこることができる何かがある	自分の地域に誇りを持つ町
若い世代が積極的に手を上げる	町民としての自信(プライド)を持つこと

プライドを持つ

いきいきした町

困った時には、お互いに助け合えるような町にしたい	住民が笑顔で町がいきいき
困っている人がいたら助ける	助け合い
困っている人が助ける(地域の助け)ことでお互い優しく笑顔になると思う	自然
自然があり、人が増えた活気あふれた町	自然豊かで災害の少ない安定した町
人と自然のバランスが保てる！	緑を大切にする

地域のつながり

若者と高齢者が協調した活力ある町	高齢の方の意見だけでなく若い人の意見をくみとってくれる
数多くの町民とコミュニケーションをとる	地域のつながりがある
個人としてのリーダーシップを計る	相手の悪口をいわない
つながり大事に	相手とのかわりを深める

市貝町の

良いところ

- ・ 自然 星・森
- ・ 地域交流 やさしい
- ・ 市街地への行きやすさ

嫌い・悪いところ

- ・ 交通手段 (少)
- ・ 暗い
- ・ 公園が (少)
- ・ 知名度

理想は…

- ・ 自然が豊か
- ・ 交通が便利
- ・ 若者が住みやすい
- ・ 住民同士の交流 (増)

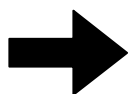
自分たちにできることは

子ども：意見を出す。

大人・住民：子どもたち・住民同士の意見を受け入れる。

子ども・大人：活動に参加する

若者の願い



子どもたちの意見を叶えてほしい。
将来働ける場所をほしい。